

こう代
友ち 第173号

2013.9.13

月名芋



学校祭も終えて

④「海賊とよばれた男」(上) 1年のT君が「先生 (吉岡 史人)
この本本当に面白かった。「下」が返ってる? と言って
カーテン つる 探しに行きました。

(新着図書)

④卒業するやついたら

(加藤 千恵)

吹奏樂部の一年後輩の男子に思ひて
寄せる先輩女子が卒業して描きと、た
川のほか、様々な卒業模様を、
一話完結13話の短編集。

④ 別冊アトリエ（試案内号）

芸大・美大をめざす人へ

-14

④雑誌 nonno -ノンノ-

雑誌はバックナンバーは貸し出しています。

〈裏面をあります〉

図書委員の紹介

田中美咲 調史人
田中聖悟 細間萌
仲田怜奈(総集長)
田中美咲(総集編)



本歌元！多摩川高校合唱部 (課題題図書) (本田有明)

混声合唱部。一年生。一年は、この全語。

(仲田 恵奈)

本博士の愛した数式(小川洋子)

文部省記憶の博士。そん
事に障害を負ふ人達の士官博
が持つてゐる。当初は
下は家政婦として金を示すと
なく、私はその他の職業には
へてゐる。博士は英語で
ある日、私は四十歳の息子がいると知り、博士は
へ連れてくるよう言いつける。そして、三人は英語で
ごすうらに原々に到り、その理解を深めていく。
映画化もされた感動の一冊です。

(田中美咲)

④ 海賊とよばれた男

(百田 尚樹)

政治・経済歴史に興味関心のある生徒は是非読んでください。著者はよく歴史を調べて書いておられ、鼻戸先生はのみり込むように読んだことがあります。

④ 美丘 (文庫)
石田衣良

平凡な大学生活を送つた。太一は突然、前へ進んでいく。問題児。大学生としての合丘にひかれていった。個性と行動力で勝てていくが…。
現強障害から個性と行動力を越えていく。

近畿大会に向けて(%)
(和歌山県) 丸本 佳苗

中学から陸上部に入部して、四年目。中学三年になんてから100Mハードルを本格的に始めた。0.1秒、0.01秒も争う世界で叫秒でも記録が縮まる嬉しい。自分が他の選手との戦いでもある。但馬大会で勝ち進み県大会に挑んだ。決勝まで進んだ選手は中学からの経験者ばかりで正直近畿大会へ進む自信はあまりない。や自信心はありますか? 県大会で優勝できたのは初めてだよ。

次は和歌山県で行われる近畿大会、赤勝へ進み、自己ベストを更新したい。

二〇二〇年
丸本さんや原くん達
オリンピックが東京
に招致され
みんなで頑張ろう

図書委員会の声

中秋の名月

9月19日(木)



お月見を
楽しもう!

旧暦の8月15日の月を「中秋の名月」「十五夜」といい、その晩にお供え物をして月を鑑賞することを「お月見」といいます。平安時代に中国より伝わる。月見や收穫祭などでススキが飾られるのは、葉の切れ味が鋭く魔除けや呪術的な力があるとされたため。

(田中・細間)

月の呼び名

無月→中秋の夜、雲などで月が隠れて見えないこと。
雨月→十五夜に雨が降ること。

- ①十四夜…待宵…名月を明日に控えて待つ。
- ②十五夜…名月…満月・望月・明月ともいう。
- ③十六夜…いざよい…月の出が前日よりも少し遅れたため
- ④十七夜…立待月…さらに少し遅れた月の出を立てて待つ。
- ⑤十八夜…居待月…さらに遅れた月の出を座って待つ。(座待月)とも。
- ⑥十九夜…寝待月…座って待つのもしつく横にならって待つ。(臥待月)とも。
- ⑦二十夜…更待月…夜更けてやっと昇る月。



今月の花

画・吉谷亮汰(3-4)

彼岸花(曼珠沙華)ヒガンバナ科

彼岸が近づくと、どこからともなくまた赤な花が顔を出します。薬、毒があり誤って食べると吐き気がしたり死に至ることも。墓地にも多く見られますが虫除けのため。このことが「死」を連想させ、「死人花」、「壁壇花」、「狐花」の異名がある。

岡大生が母校訪問

(9/1)



=秋分の日=

春分と同じくこの日に昼夜の時間が等しくなりこの日を中秋にしておりこの日を中止に秋の彼岸になります。墓参りをして那気を祓ふとされる小豆を使おう。あはげを供えて食べます。

私は「彼岸花」は家に持つて帰ると大事になれるといふと祖母に言われたのです。

かわらけなーだー

毎日お世話になるトイレと洗面所

振り返ってから出ましょー

大学生になつた自分から豊高生の皆さんに言えることは、毎週の小テストをあなどうないで、大切にしてほしいということです。日々の積み重ねです。今回、教室では、このことを特に強く話したつもりです。ことだけ分かってもらえたなら、ありがとうございます。頑張って下さい。

毎日の小テスト 真剣に!

磯田康太郎

三年生は豊高祭も終わり、模試が増えてきて、大変な時期になつたと思います。しかしこの受験を乗り越えると、大学生魂が待つています。大学は高校と違ひ自分で何でも決めなければいけないのですが、その分自由な時間が多いです。苦あれば、樂ありです。受験を乗りこえて下さい。二人は、「今日一日疲れた」と帰って行きました。

二人は、

「今日一日疲れた」と
帰って行きました。